

令和元年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 萩 原 貴 幸

フロンティア秋田 船 木 純

市民クラブ 藤 枝 隆 博

共 産 党 佐 藤 広 久

公 明 党 成 沢 淳 子

そ う せ い 武 内 伸 文

秋 水 会 安 井 正 浩

秋 水 会 川 口 雅 丈

秋 水 会 伊 藤 巧 一

1 イージス・アショアの配備について

- (1) 先般、防衛省から説明のあった内容について、再調査をどのように受けとめているのか
- (2) 防衛省では、青森・山形両県での調査は予備的な位置づけとしており、新屋ありきと思われるがどうか
- (3) 再調査の結果報告が提出されるまでに、市民から配備に対する肯定・否定それぞれの意見を聞く機会を設けるべきと考えるがどうか
- (4) 新屋演習場へ配備することとなった場合の本市の人口や経済に与える影響を比較・検討できるデータを防衛省に要求する考えはないか

2 外旭川複合施設構想の受け入れと（仮称）泉・外旭川新駅の利用拡大等について

- (1) 同構想を受け入れずして、雇用を生み出し人口減少対策へとつながる可能性のある施策について、具体的に考えを持っているのか
- (2) コンパクトなまちづくりは中心市街地に人を集めるだけではなく、地域内に多数の拠点を設け、公共交通機関で結ぶ「多極ネットワーク型」とすることも有効と考えるが、同構想をその拠点の一つとして考えてはどうか
- (3) 同構想の実現は、新駅の利用拡大にも十分な効果をもたらすと考えるがどうか
- (4) 外旭川地区を新スタジアム整備候補地とする考えはないか

3 少子高齢化・人口減少による労働力不足の解消等について

- (1) 働き方改革によって魅力ある職場環境を整備した企業の事例紹介や、求人情報を秋田市移住相談センター等において積極的にPRすることで、本市の労働力不足の解消につなげるべきと思うがどうか
- (2) 少子高齢化が進む本市において、保育士や介護職員など、若い力を必要とする現場での労働力確保のために、どのような取り組みを行っ

ているのか

(3) 外国人住民について

ア 本市の外国人労働者と外国人技能実習生の就労実態及び課題について、どのように把握しているのか

イ 本市の外国人住民は、地域のコミュニティーにどのように関わっているのか

ウ 外国人住民に対する災害時の情報伝達や安否確認にどのように取り組んでいるのか、また、現状の課題についてはどうか

エ 本市の外国人児童生徒に対する学校生活におけるサポート体制はどうか

4 幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の助成について

(1) 県が実施する副食費の助成事業について、本市の考えはどうか

5 交通事故防止に向けた安全・安心への取り組みについて

(1) 近年増加している交通事故や交通トラブルの防止・抑制のためにも、ブレーキ踏み間違い防止装置及びドライブレコーダーの取り付け費用について、助成すべきと思うがどうか

(2) 多くの児童生徒が利用する通学路の交差点について、県や警察と連携して歩車分離式信号機の導入拡大を進めていく必要があると考えるがどうか

6 スポーツ施設等について

(1) 本市が管理するスポーツ施設及びそれに付随する備品等の使用について、各競技団体等との意見交換の場が必要と考えるがどうか、また、そのニーズに沿った施設整備も必要と考えるがどうか

7 小中学校の熱中症対策について

(1) 本市の小中学校には熱中症に関する対策指針はあるのか、また、その指針をもとにどのような対応をしているのか

(2) 本市の小中学校には暑さ指数（WBGT）を示す計測器ほどの程度設置しているのか、また、暑さ指数を基準としたガイドライン等の策定はしているのか

8 マイタウン・バスの今後の課題認識について

(1) 運行路線地域に居住する利用者からどのような声が寄せられ、どのように対応してきたのか

(2) 利用者の声を聞き、将来を見越したより利便性の高い運行方法を検討してはどうか

1 イージス・アショア配備計画について

- (1) 配備をめぐる再調査について、防衛省からの説明では「青森県と山形県の国有地は、予備的な位置づけになる」とのことで、本命は秋田県であり、新屋配備ありきで進められていると思うが、市長の認識はどうか
- (2) 配備地の基準について、佐竹知事が「少なくとも半径2から3キロメートルに人家がないところ」と発言しているが、市長の認識はどうか
- (3) 5月31日付で市職員7人により構成された検証チームは、どのような専門分野で、どのような知識を持った職員で構成されているのか、また、防衛省が実施しようとしている再調査の調査結果が示された後、どのように検証を行っていくことになるのか
- (4) 防衛省が提示する各種データについて、今後、外部の専門家を招いて、客観的に分析・検証を行うべきと考えるがどうか

2 環境施策について

- (1) マイクロプラスチック問題に対する本市の取り組みについて
 - ア 同問題は世界各国で顕在化してきているが、現在、本市ではどのような取り組みを行っているのか
 - イ 市内で開催される各種イベントを通じて、ブースで提供する食材のこん包などに環境に優しい材料を使用することで、市民に対して同問題を認識してもらうなどの取り組みを行ってはどうか
- (2) 家庭ごみ処理手数料は、ごみ収集運営費に直接充当しているが、家庭ごみ有料化の趣旨に反しているのではないか

3 市立秋田総合病院の改築について

- (1) 概算事業費は高額であることから、設置者としてコスト削減に努めるよう働きかけるべきと思うがどうか

4 自動車運転免許証の自主返納者への取り組みについて

- (1) 多様な交通手段の確保の観点からも、新たに代替交通支援事業を実施するなど、自主返納を促進するための取り組みをすべきと考えるがどうか
- (2) 自主返納後は、バスやタクシーを利用しにくい車いす生活者のため、リフト付きのワゴン車を安価に利用してもらえるような取り組みをすべきと考えるがどうか

5 行政委員会委員の報酬について

- (1) 月額報酬と日額報酬とを二重に規定しているが、活動実績に応じた報酬にすべきと考えるがどうか

6 秋田市農山村地域活性化センター「さとぴあ」について

- (1) 多目的ホールにある運動器具の拡充を図ってはどうか
- (2) 施設の遊休施設部分を宿泊棟とし、農業体験、合宿、研修などを目的に首都圏から人を呼び込む取り組みを行ってはどうか
- (3) チラシ、ホームページ及びSNSなどを活用して、施設を広くPRしてはどうか

7 マラソンによる本市の魅力発信について

- (1) フルマラソン大会を主催し、県外からのランナーを呼び込み、本市の魅力をPRすることにより、交流人口の拡大、観光客数の増加を図ってはどうか

8 英語表記に関するチェック体制等について

- (1) 本市施設に配置する冊子や掲示物等の英語表記のチェック体制はどのようになっているのか、また、ミス発覚時の対応はどうか

1 イーリス・アショア配備問題について

- (1) このたびの参議院議員通常選挙結果を受け、防衛省が進めるイーリス・アショア配備問題に関する市長の認識と評価はどうか
- (2) 市長はイーリス・アショア配備計画に関する是非について、このたびの選挙結果で示された民意を今後どのように反映させるのか
- (3) 防衛省から再調査結果の説明を受けた後、市長はイーリス・アショア配備の是非に関する住民投票を実施し、配備計画の是非を判断する考えはないか
- (4) 市長は、イーリス・アショア配備地から住宅地までの最適な距離をどのくらいと考えているのか、また、その根拠は何か
- (5) 安全・安心なまちづくりの観点から、防衛省がさきに示した調査結果について、本市が設置した検証チームによる検証を直ちに再開する必要があると考えるがどうか
- (6) イーリス・アショアの配備について、市民から市長の思いや考えなどを聞く機会を設けてほしいとの意見があるが、市民対話集会などを開催する考えはないか

2 実効性のある小中学校教職員の働き方改革について

- (1) 教員の多忙化の根本的な原因として、教員及び学校全体が抱える業務・活動に対し、教職員の絶対数が不足していることが指摘されているが、これを働き方改革の基本に据えて抜本的な改善を目指す考えはないか
- (2) 働き方改革の視点から、学校において標準授業時数を過度に上回らないようにするべきと考えるがどうか、また、そのような学校に対して、どのような指導を行っているのか
- (3) 教職員の負担軽減のため、中学校部活動外部指導者を初めとする支援員等の配置・増員を行っているが、今後の人員配置計画及び増員のための予算化に向けた考えはどうか

- (4) 事務処理作業の効率化・簡略化のために、校務支援システム「C 4 t h」を導入しているが、同システム導入前と比べて I C T の活用による業務の効率化は、どの程度改善されたのか
- (5) 通知表の書式の統一化と所見欄の簡略化を教育委員会と学校が一体となって改善するべきと考えるがどうか
- (6) 連日真夏日を記録した夏季休業期間中においても、教職員は学校での業務に追われていることから、熱中症防止と快適な労働環境を確保するという観点から、教職員室にエアコンを設置する考えはないか

3 積極的な空き家の利活用について

- (1) 平成26年4月から秋田市空き家等の適正管理に関する条例を施行しているが、今日まで同条例が有効に機能していると考えているのか、また、危険な状態にある空き家等に対し、適正な管理を行うよう同条例に基づいて助言または指導などを適切に行っているのか
- (2) これまでの空き家バンクへの登録件数は、どのくらいあるのか、また、これまでに空き家バンク制度を活用した売買契約及び賃貸契約の成約実績とその評価はどうか
- (3) 秋田市立地適正化計画における居住誘導区域内にある空き家について、空き家バンクへの登録の推進を図るため、登録者及び居住希望者に対する優遇措置を検討してはどうか
- (4) 多様なニーズにこたえるため、ふえていく空き家を地域資源ととらえ、福祉的に活用していく事業を積極的に推進するなど、空き家所有者、自治会及び事業者などに対し支援、促進を行うべきと考えるがどうか
- (5) 空き家問題の解決に向けた啓発を行うとともに、市民や町内会向けに空き家ガイドブックを作成し、空き家の解消と有効活用を促進するべきと考えるがどうか
- (6) 空き家の解消及び移住・定住促進を一体的に取り組むため、相談体制をより充実させるべきと考えるがどうか
- (7) 不動産業者、設計業者及び建設業者等による民間支援チームを組織

し、除却希望者、売却希望者及び購入希望者等がワンストップで相談できる体制を整えるべきと考えるがどうか

4 利用者にやさしい持続可能な公共交通体系の確立について

- (1) 本市の公共交通網の将来展望についてどのように考えているのか
- (2) マイタウン・バスやデマンド型乗り合いタクシーの導入など、地域公共交通のさらなる充実に向けた施策を今後どのように進めていくのか
- (3) 人工知能や通信を活用した自動運転の導入を視野に入れている自治体や民間企業と連携し、新たな公共交通の手段について検討してはどうか
- (4) 中・高・大学生のバス料金を一律200円とするようバス事業者と協議してはどうか
- (5) 自転車通学ができない冬期間において、市内各高校への路線バスの本数を増加するようバス事業者と協議する考えはないか

5 高齢者ドライバーへの安全対策及び支援策について

- (1) 安全運転サポート機能の導入及びドライブレコーダーの装着に関する普及啓発並びに購入費の一部助成などの支援策について検討してはどうか
- (2) 高齢者の自動車運転免許証の自主返納後にタクシー運賃の割引が受けられるなど、本市独自の補助制度を検討してはどうか

6 バドミントン競技の普及について

- (1) 秋田市体育協会及び秋田市バドミントン協会と連携し、子供から大人まで幅広い世代にバドミントン競技の普及を図るための取り組みを進めるべきと考えるがどうか

7 公共空間にストリートピアノを設置する社会実験の実施について

- (1) 公共施設の新たな活用として、市民の座を初め、エリアなかいち、

来年3月に完成予定の秋田駅西口駅前広場など、公共空間にストリートピアノを設置し、にぎわい創出や音楽がもたらす効果などを検証するための社会実験を実施してはどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 参議院議員選挙期間中、行政のトップと職員が勤務時間中に特定の候補を応援したことを公務員の政治的中立性から見て、市長はどう考えるのか
- (2) 参議院議員選挙秋田選挙区で、イージス・アショアの新屋勝平地区への配備に反対する候補が当選したが、市長は、県民・市民の下した審判をどう受けとめたのか、また、配備反対の判断をすべきではないか
- (3) イージス・アショアの配備は、市長が目指す「次世代に元気な秋田市を引き継ぐ」とする将来のまちづくりや、人口増加を促す移住・定住施策の推進の妨げになるのではないか

2 マイナンバーカードの取得について

- (1) 公務員のマイナンバーカードの取得に関して、総務省からどのような通知があったのか、また、本市としての対応はどうか
- (2) マイナンバーカードの取得は、公務員であっても法的義務はなく、個人の選択に任せるべきもので、強制すべきではないと考えるがどうか
- (3) マイナンバーカードの取得に関し、取得しないことにより不利益がないことを文書等で明確にすべきではないか

3 国民健康保険税について

- (1) 国民健康保険の都道府県単位化による標準保険料率をもとに県内保険料水準の統一が進められた場合、ますます被保険者の負担がふえるのではないか、また、今後の見通しをどのようにとらえているのか
- (2) 国に国庫負担の増額を求めつつ、本市独自の減免制度を拡充すべきではないか
- (3) 国民健康保険加入世帯の大半が低所得層で、所得に占める負担率が

過大となっていることから、負担軽減のため国民健康保険税額そのものを引き下げるべきではないか

4 防災・避難支援について

(1) みずから命を守ることが重視される中、みずからが行動を判断できるよう、災害時に対応できる市民向けのマニュアルと児童生徒版を作成し、啓発活動に活用すべきではないか

(2) 避難場所・避難所のあり方について

ア 避難場所・避難所について災害別適合状況の総点検を行い、地域住民に周知すべきではないか

イ 緊急時の一時的な避難所として町内会館や近隣の民間施設、お寺や神社を活用できるよう検討してはどうか

ウ 人道憲章と人道対応に関する最低基準（スフィア基準）に基づく被災者支援の観点から、避難所運営のあり方や備蓄品等を検証し、災害対応の業務確認を進めるべきではないか

5 学校の快適な環境と子供の健康について

(1) 熱中症対策について

ア 熱中症対策として小中学校の夏休みを4日早めたが、効果があったのか、また、年間予定への影響はどうか

イ 夏休み期間の調整だけで、今後の熱中症対策をとれると考えているのか

(2) 学校施設の改善やエアコン設置に関し、保護者や学校関係者などから意見を集約すべきではないか

(3) 学校施設長寿命化計画の中に、すべての教室にエアコンを設置することを明確に盛り込むべきではないか

6 児童虐待への対応等について

(1) 児童相談所設置予定の明石市、奈良市へ昨年度視察に行った成果と、本市の児童相談所設置の課題をどう考えているのか

- (2) 保護者への啓発や講習をきめ細かく行うため、各地区で児童虐待に関する講習会を行う考えはないか
- (3) 学校教育等の現場で、子供に人権を学ぶ機会をつくるべきと考えるかどうか

7 幼児教育・保育の無償化に係る副食費について

- (1) 副食費の実質徴収による保育所等の事務負担への支援が必要ではないか
- (2) 国の助成基準から外れた副食費の保護者の負担軽減のため、県の軽減策とあわせ市独自で助成すべきではないか

8 選挙の投票について

- (1) 高齢者や障がい者の投票支援について
 - ア 投票の意思があっても投票することが困難な高齢者や障がい者の投票する権利の行使を支援すべきではないか
 - イ 投票所のバリアフリー化を図り、高齢者や障がい者が投票しやすい環境づくりを進めるべきではないか

9 地域の諸課題について

- (1) 旭川地区の高梨台、めじろ台及び中台団地の交通弱者が利用できるよう、ミニバスの運行などの対策を講ずることができないか

1 人口減少対策について

(1) 新・県都『あきた』成長プランについて

ア 来年度が最終年度となる新・県都『あきた』成長プランにおける人口減少対策の進捗状況はどうか、また、これまでの取り組みの成果をどのように評価しているのか

イ 次期総合計画策定に当たっては、より効果的な計画とするために若者世代や子育て世代から直接意見が聴取できる場を設けるべきではないか、また、同計画の策定段階においてどのような意見が出され、その意見がどのように盛り込まれたかなど、適宜ホームページ等で公開し市民にも開かれた中で策定を進めるべきと考えるがどうか

(2) 移住・定住について

ア 本市への移住・定住の促進における県との連携をどのように行っているのか、また、移住・定住をさらに進めるため、移住希望者等に対して本市から積極的にアプローチしていくような取り組みは考えられないか

イ 移住・定住に関する本市の各種優遇制度の拡充と周知について、今後どのように展開していくのか

2 環境問題について

(1) 地球温暖化対策の推進について

ア 本市における地球温暖化対策の取り組み状況はどうか、また、地球温暖化は、農業、生態系、健康被害及び豪雨による災害などに関連することから、関係部局の連携は重要と考えるが、どのように図られているのか

(2) あきエコどんどんプロジェクトの取り組みについて

ア エコアクションを行った際のポイント付与の仕組みや、協力店舗数拡大などの課題があることから、同プロジェクトに市民及び協力

店舗等がより参加しやすい仕組みを検討すべきと考えるがどうか

(3) プラスチックごみの排出を抑制するための取り組みについて

- ア 来年4月からレジ袋有料化を義務づけるとする国の方針について、どのように評価しているのか、また、本市としても市民への影響を勘案しながら、プラスチックごみ排出を抑制するためのさらなる取り組みを検討すべきではないか

3 少子化対策について

(1) 第二次秋田市子ども・子育て未来プラン等について

- ア 本市の少子化対策について、事業効果等の分析・調査を第三者で行い、施策に反映すべきと考えるがどうか

- イ 第二次秋田市子ども・子育て未来プランは、本年度が最終年度となるが、これまでの事業成果をどのように評価・分析しているのか、また、より実効性のある次期プランの策定をどのように考えているのか

(2) 仕事と子育ての両立に対する支援について

- ア 本市における仕事と子育ての両立に対する支援の現状はどうか、また、平成28年11月に市長が「子育て応援リーダー宣言、秋田市版イクボス宣言」を行ったが、市内企業にイクボスは浸透しているのか

(3) ICTを活用した子育て情報の提供について

- ア 本市におけるICTを活用した子育て情報配信サービスの現状及び今後の具体的な計画はどうか

(4) 産後の支援について

- ア 育児不安の解消及び母親の心身の健康回復を図るため、助産師、保健師の訪問指導のほか、家事援助などのさまざまなサービスを活用できるよう、市として支援を拡充すべきと考えるがどうか、また、民間事業者等で行われているヘルパー派遣等の利用者への助成など産後支援を検討してはどうか

(5) 地方独立行政法人市立秋田総合病院における周産期医療体制の強化

について

ア 同病院の周産期医療体制を強化すべきと思うが、市は設置者として働きかける考えはないか

4 消費税率引き上げに伴う負担軽減策について

(1) 介護保険料の軽減について

ア 消費税率引き上げに伴う低所得者の介護保険料軽減の実状はどうか

(2) キャッシュレス決済に対するポイント還元制度について

ア 同制度の利用について、市民へわかりやすく周知すべきと考えるがどうか、また、キャッシュレス決済の導入について、事業者に対して支援していく考えはないか

5 市民生活の安全・安心について

(1) 詐欺被害等について、本市への相談件数、相談内容等の現状はどうか、また、市としてどのような啓発活動を行っているのか

6 成年後見制度等について

(1) 本市における成年後見制度活用の現状はどうか

(2) 身上監護が中心と想定される市民後見人の果たす役割が重要になってくると考えるが、どのように認識しているのか、また、市として人材を養成していくべきと考えるがどうか

7 (仮称) 泉・外旭川新駅を中心としたまちづくりについて

(1) (仮称) 泉・外旭川新駅と秋田市卸売市場を核としたまちづくりをどのように進めていくのか

(2) 都市計画道路将軍野相染線は、南北をつなぐアクセス道路として重要と考えられることから、早期の着工を検討すべきと思うがどうか

1 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- (1) 目標に対する実績はどうか、また、効果や課題をどのようにとらえ、次期戦略にどう生かしていくのか

2 社会減対策について

- (1) 18歳と22歳が人口流出のピークになっているが、こうした年齢層が将来、地元に戻ってくるように地域課題を自分事としてとらえるような仕掛けを考えてはどうか
- (2) 県内外の大学生を対象にした地元企業との合宿プログラムを通じた交流を推進してはどうか
- (3) 秋田市版応援市民制度を創設し、若者へのふるさと情報の発信を強化してはどうか
- (4) 秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点と連携することにより、移住希望者に対して有意義な情報提供をすることはできないのか
- (5) 秋田市移住相談八重洲センターの現状と成果及び今後の課題は何か
- (6) 県都として人口流動のダム機能の役割を果たすよう、他市町村との協力体制を構築すべきではないか

3 インバウンド対策等について

- (1) 来年度の本市における訪日観光客の旅行消費目標額はどうか、また、目標達成のための戦略をどのように考えているのか
- (2) 個人旅行客については、SNSや動画コンテンツなどによるPRが有効と考えられることから、積極的に取り組むべきと思うがどうか
- (3) 観光客目線となって、東北単位でプロモーションを展開する考えはないか
- (4) クルーズ船の誘致促進と受け入れ体制の充実に取り組むことによる、将来的なねらいは何か
- (5) 国際交流やシビックプライドの醸成につながるおもてなし活動を市

民全体に広げていく考えはないか

(6) ラグビーワールドカップ2019について

ア ラグビーワールドカップの観戦客への対応について、飲食店、宿泊施設及び案内所など、オール秋田でおもてなしをする準備は整っているのか

イ オリンピック事前合宿の誘致を含め、フィジー共和国との今後の交流をどのように深化させていくのか

(7) 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

ア 竿燈まつりと開催期間が重なることから、宿泊施設確保のために、イベント民泊を実施してはどうか

イ パラリンピックを障がい者理解を深める契機とするため、競技の体験交流会等を実施してはどうか、また、卓球バレーなどの障がい者スポーツの体験も合わせて実施してはどうか

ウ パラリンピックまでに、ユニバーサルツーリズムが可能な環境整備を進めてはどうか

4 関係人口の創出・拡大について

(1) 県外の若者を対象に、本市が持つ地域資源や地域課題を自分事として考えてもらう取り組みを行ってはどうか

(2) 竿燈まつりや各種イベントなどで、毎年本市とかがかわっている県外関係者へのインタビューなどを通じて、本市の魅力を発信し、関係人口をふやすことはできないのか

(3) 企業版ふるさと納税の活用は資金面だけでなく、本市と企業のつながりを強化する側面もあると考えるが、本市における取り組み状況と今後の展望はどうか

5 国際交流について

(1) 友好・姉妹都市との交流を一步前進し、経済及び観光交流を通じた、海外から稼ぐ取り組みを進めてはどうか

(2) 台南市との交流を今後どのように展開していくのか、また、経済及

び観光交流の促進をチーム東北として取り組む考えはないか

6 公共交通の将来像と外出機会の創出について

- (1) 地域内交通を検討する上で、交通弱者の外出サポートに加え、外出機会の創出を目的とした取り組みを検討してはどうか、また、その際「チョイソコ」の導入も検討してはどうか
- (2) 幹線バス路線等調査結果では、既存のバス路線をベースに、維持するバス路線と交通結節点を特定しているが、この結果を受け、将来的に持続可能な公共交通網を構築できると考えているのか
- (3) 公共交通の負のスパイラルから脱却し、持続可能な公共交通網を構築するためには、交通事業者間連携や役割の再定義を促すリーダーシップが必要であり、本市がその役割を担うべきと考えるがどうか
- (4) (仮称) 泉・外旭川新駅における鉄道とバスの乗り継ぎ連携や近隣拠点エリアをカバーする循環バスの運行などの検討状況はどうか
- (5) バスロケーションシステムの構築、屋根及び広告つきバス停の整備、ルートマップ情報の提供及びICカードの活用に係る検討状況と実現の可能性はどうか
- (6) 市民のバス利用を促進するために、積極的な仕掛けを講じていくべきではないか

7 ICTを活用したまちづくりについて

- (1) スマート農業を農業者にもっとわかりやすく周知し、希望者を後押しするような取り組みはできないか
- (2) 徘徊を繰り返す高齢者を対象として、短時間での検索を可能にするために、GPSなどの位置把握システムを導入してはどうか、また、同様の仕組みを使用し、児童生徒の登下校時の見守りサポートを検討してはどうか

8 中心市街地の冬季の活性化について

- (1) スケートリンクの設置に係る検討状況はどうか

(2) クラフト市を開催してはどうか

9 成年後見制度の利用促進について

(1) 成年後見制度の利用促進に向けた体制整備の状況はどうか

(2) 市区町村長申し立て件数が他県に比べて少ないことについてどのように考えているのか

(3) 市長申し立てを行うまでの手続を迅速化できないのか

(4) 成年後見需要の増加に備え、社会福祉協議会に対して成年後見等実施機関となるよう働きかけてはどうか

10 教育機会確保法について

(1) 同法を受けた本市の対応はどうか

11 子供の遊び場について

(1) 「ひがしね あそびあランド」のような子供の遊び環境を整える考えはないか

12 SDGs（持続可能な開発目標）について

(1) SDGsに対する本市の対応はどうか、また、SDGs未来都市を目指す考えはないか

13 エネルギー等について

(1) 地域の自然エネルギーは地域に還元するというコミュニティパワーの考えに基づく地域自然エネルギーに関する条例の制定を検討する考えはないか

(2) 公共施設等のエネルギーをできるだけ地域新電力から購入するよう取り組む考えはないか

14 イージス・アショアについて

(1) 市長が意図するゼロベースでの選定は、既存の候補地以外も含むの

か

- (2) 新屋演習場の住宅地からの距離、津波リスク及びインフラ整備などに関する市長の見解はどうか
- (3) 再調査の結果、新屋演習場のみが適地となった場合、どのように検証するつもりなのか

1 イービス・アショアの国内配備について

- (1) 議論の再開に当たり、重視すべき論点をどのようにとらえているのか
- (2) 検証チームについて、そのメンバーの知見はどの程度のものなのか、また、期待する役割はどのようなものか

2 避難指示のあり方等について

- (1) 全市民への避難指示など、住民が困惑するような他都市の実態をどのようにとらえているのか
- (2) 洪水ハザードマップについて、その表示内容は、早急に改善すべきではないか、また、秋田市公式サイトにアクセスが集中した場合の不安はないのか

3 中心市街地商業集積促進事業について

- (1) 補助金支出後の事後管理はどのように行っているのか
- (2) 山王地区の飲食店数減少に歯どめがかからず、バランスを欠いた施策になっているのではないか、何らかの考えがあるのか

4 海洋プラスチックごみの拡散防止について

- (1) 全市を挙げて積極的に取り組むべきではないか
- (2) 「家庭ごみに係る処理手数料相当額」の用途へ新たに組み入れることにより、市民意識の醸成を積極的に図るべきではないか

5 自転車の安全利用促進等について

- (1) 自転車の安全利用の促進等について、各市民サービスセンターでも周知や注意喚起をしてはどうか
- (2) 元気な高齢者への福祉の観点から、自動車運転免許証を自主返納した方に対して自転車賠償責任保険への加入をサポートする施策が必要

ではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 首都圏等でなければなし得ない挑戦をしたいといった若者の人口流出が続いているが、そういった若者のふるさとへの思いに配慮し、例えば、所得税や住民税の一部を本籍地のある地方自治体へ配分するなど、地方創生の実現に向けた新たな税配分について地方から国に要望すべきと思うが、市長の考えはどうか、また、秋田県市長会等に提案する考えはないか

2 子育て支援について

- (1) 国による幼児教育・保育の無償化により保育所入所等に関する支援が拡充される中、市として、在宅子育てに関する支援についても拡充すべきと思うがどうか

3 新スタジアムの整備について

- (1) 候補地の一つの八橋運動公園の課題検討に当たり、県から第2球技場と健康広場の代替地としてどのような案が示されたのか
- (2) 市は以前から八橋運動公園へのスタジアムの整備は困難という見解を示しているが、課題検討を行っている現段階における見解はどうか
- (3) 3候補地の課題の解決は現状では難しいことから、ほかの候補地の選定や、八橋運動公園にある県・市所有の各スポーツ施設の再配置と周辺の土地の活用を県と連携して検討すべきと思うがどうか

4 今後の地域づくりについて

- (1) これまで本市では、小学校単位を基礎に地区の組織を、市民サービスセンター単位で地域づくり組織を結成し、さまざまな地域支援を行ってきたが、小・中学校の適正配置による地域づくりへの影響等を市民生活部としてどのように考え、教育委員会とどう連携していくのか

5 市役所庁舎について

- (1) 特別職及び部局長は、来客対応や部外秘の重要案件を協議する機会が多いことから、応接にも対応できる執務室を設けるべきと考えるがどうか

6 地域の諸課題について

- (1) 市道大堰反線の渋滞緩和策について、現状と今後の取り組みはどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されることにより、本市にどのような経済効果が生まれると考えているのか
- (2) 外国人観光客を受け入れるため、どのような取り組みを行うのか
- (3) 市長は次世代に希望に満ちた元気なまちをつなぐため、残りの任期において本市に経済効果をもたらすイベントの開催にどのように取り組んでいくのか

2 地方独立行政法人市立秋田総合病院及び仁井田浄水場の工事発注方式及び事業方式の選定について

- (1) 同病院の新病院建設工事に係る発注の判断と決定をどのようにとらえているのか
- (2) 同浄水場の更新においては、市内の関連団体から分離発注方式の採用に関する要望が出されているが、そのことについてどのように考えているのか
- (3) 同病院の新病院建設及び同浄水場の更新において、市が支出する予算の総額を幾らと試算しているのか

3 財源について

- (1) 人口減少に伴い、具体的にどのようにして財源を確保していくのか
- (2) 消費税率10%への引き上げに伴う消費の落ち込みが、本市の財政に与える影響をどのように考えているのか

4 企業誘致について

- (1) 企業誘致の現状と今後の見通しはどうか
- (2) 企業誘致に関して、他市町村との連携は行っているのか
- (3) 事業所の開所に向けて、市街化調整区域の規制緩和等の対応が必要ではないか

5 農業について

- (1) 農業の後継者育成をどのように考えているのか、また、農業法人の大規模化によって生じる経営者と雇用就農者の課題について、どのようにとらえているのか
- (2) 米の生産調整（減反）が廃止されたとはいえ、自治体やJA等で組織する農業再生協議会が生産の目安を示すことにより、以前とは何も変わらず生産調整をしていることに対し、どのように考えているのか
- (3) 秋田市都市農村交流マスタープランが3年目を迎えたが、各部局との連携の成果はどうか、また、今後どのような取り組みを行うのか

6 本市への移住について

- (1) 移住者支援の窓口を東京都の八重洲エリアに増設したことによって、どのような効果と成果が生まれたのか
- (2) 移住促進事業は人口減少対策の一つとして非常に期待されていることから、さらなる組織体制等の充実を図り攻勢をかけるべきではないか
- (3) 県や県内他市町村との連携はどうか

7 御所野学院高等学校について

- (1) 来年1月から同校が県公立高校の入試制度を導入するに当たり、メリット・デメリットをどのように考えているのか
- (2) 同校を存続させるために、どのような特色や特性を持った運営を行うのか
- (3) 同校の今後の運営に当たっては、県との連携が不可欠と思われるが、どのように考えているのか

8 観光について

- (1) 観光振興について県や他市町村とどのような連携をしているのか、また、今後、新たに県や他市町村と連携した取り組みを行う考えはあ

るのか

- (2) 観光客などの安全面に配慮し、竿燈まつり開催期間におけるすずらん通りの車両規制を考えてはどうか
- (3) 歩行者の安全面に配慮し、赤れんが館通りの歩道の全面的な補修を早急に実施するべきではないか
- (4) 竿燈妙技会の見学者への暑さ対策などについて、一層の配慮をすべきではないか
- (5) スマートフォン等への情報提供はどのように行っているのか
- (6) 外国人観光客の受け入れやおもてなしについてどのように考えているのか
- (7) 本市が一番に目指す観光客へのおもてなしをどのように考えているのか

9 マイナンバーカードについて

- (1) 国、県及び本市のマイナンバーカードの交付率はどうか
- (2) 市職員のマイナンバーカード交付率はどうか、また、公務員は来年3月までに取得するよう国から促されているが、どのように対応するのか

10 害獣対策について

- (1) 本市のクマ及びイノシシの生息について把握しているのか、また、対策についてどのように考えているのか